

国税庁委託先、69万件無断再委託

有料記事

2018年12月15日05時00分

国税庁は14日、個人情報を含む源泉徴収票などのデータ入力を委託した情報処理会社「システムズ・デザイン」（東京都杉並区）が、約69万件について無断で別業者に再委託していたと発表した。再委託先以外へのデータ流出や不正利用は確認されていないという。

同庁と同社によると、2017～18年に東京・大阪の各国税局が企業や個人事業者から提出を受けた源泉徴収票や取引資料、法定調書など138万8722件のデータ入力を同社に委託。同社は契約に違反して69万6614件を国内の3業者に再委託していた。うち約55万件にはマイナンバーも記載されていたという。

同庁は17年6月から4回、同社の個人情報の管理が適切かどうかを監査したが不正を把握できず、日本年金機構のデータ入力業務が再委託されていた問題を受けた5回目の監査で発覚した。同社は「他の企業などからも業務を受託し、入力が困難になったため」と説明したという。

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.